

浜の活力再生プラン
(第2期)

組織名	鹿島地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 <u>長岡 浩二</u>

1 地域水産業再生委員会

再生委員会の構成員	鹿島灘漁業協同組合，鹿島灘水産加工業協同組合，鹿嶋市観光協会， 鹿嶋市，茨城沿海地区漁業協同組合連合会
オブザーバー	茨城県水産試験場，（公財）茨城県栽培漁業協会，茨城県漁政課

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	地域：鹿島灘漁業協同組合管内（茨城県鹿嶋市，神栖市，銚田市） 対象漁業階層：5トン未満動力漁船 72 経営体 （機船船びき網漁業，小型機船底びき網漁業（貝桁網を含む），固定式刺し網漁業，流し網漁業，たこつぼ漁業，せん・かご漁業等）
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>鹿島灘漁協は，茨城県東南部に位置し，管内は 75km に及ぶ砂浜の海岸線を有し，その沖合は黒潮と親潮が交錯することで好漁場が形成され，5トン未満の沿岸小型船漁業が盛んな地域である一方，鹿島臨海工業地帯として都市化も進んでいる。主な漁業種類は，シラスを対象とする機船船びき網漁業，ヒラメやカレイ類を対象とする固定式刺し網，鹿島灘はまぐりを漁獲する貝桁網，マダコを漁獲するたこつぼなど 10 種類以上を季節や海況により組み合わせで行っている。</p> <p>平成 29 年度の鹿島灘漁協の水揚金額は，約 1,098 百万円で，漁法別に見ると，しらす船びき網が 446 百万円，たこつぼが 130 百万円，貝桁網が 114 百万円，固定式刺し網が 37 百万円の順になっており，年間の漁獲高，漁獲量ともにシラスが高い割合を占めている。</p> <p>しかし，近年は，燃油価格の高騰，原発事故による風評被害による魚価低迷などの影響により，漁業経営は厳しい状況にある。</p>
--

(2) その他の関連する現状等

<ul style="list-style-type: none"> ・平成 7 年に鹿島灘の砂浜域で漁獲されるチョウセンハマグリを「鹿島灘はまぐり」と命名し，産地形成，ブランド化を図っている。 ・「鹿島灘はまぐり祭り」を平成 17 年から 12 回，「鹿島灘ひらめ祭り」を平成 25 年から開催し，当地域で水揚げされた水産物の PR 活動を図っている。 ・鹿島灘産の水産物は市場でも高い評価を受けているものの，この地域資源が鹿島地域で十
--

分には活かされておらず、商観光業の連携とともに、前浜のにぎわい創造（直売所、飲食店等）が課題となっている。

3 活性化の取組方針

（1）前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

漁獲量の増加が大きく期待できない状況において、漁業者の経営安定のためには、魚価の向上への取り組みが重要である。

そのため、鮮度保持、販路拡大、地産地消等の対策を進めるとともに、消費者ニーズに対応した安心・安全で高品質な水産物を供給する。

また、つくり育て管理する漁業を推進し、豊かな海を将来にわたり持続的に利用していく。

一方、漁業経営悪化の大きな要因である漁業用燃油の高騰に対し、減速航行や船底清掃による燃油コストの削減を図り所得の向上を目指していく。

●漁業収入を向上させるための取組

- ① シラスの鮮度管理技術の向上と、生シラスの地元流通および消費を図り、主要魚種であるシラス単価を向上させることで、シラス船びき網漁業の収入向上を図る。
- ② 当地区は臨海工業地帯であることもあり、水産業や水産物に対する認知度が低い。そのため、地元住民に対しては産業祭等のイベントを開催し、水産物を出品することで、

PR を行う。このほか、学校給食への地元水産品の積極的活用、低利用資源であるホッキガイの利用促進を行うことで、鹿島灘産水産物の認知度の向上及び地産地消を促進し、魚価の向上を図る。また、ホッキガイについては、ハマグリと別のローテーションを組み、資源状況に配慮しつつ自主保護区域で操業を行う。

- ③ 当地域における栽培漁業対象種であるヒラメ、ハマグリの子苗放流や、ハマグリ小型貝の保護等による水産資源の維持・増大を行うとともに、市内関係団体と連携し、漁場環境保全を行う。

●漁業コストを削減させるための取組

- ④ 減速航行や船底清掃を励行し、燃油費の削減を図る。
- ⑤ 漁協は、製氷施設を整備することにより、漁業用水の安定的な確保と漁業者の水コスト削減を図る。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

1. ヒラメの資源管理

- (1) 小型魚の保護のため、全長 30 cm未満のヒラメの水揚げを規制している。(平成 7 年 1 月から委員会指示)
- (2) 那珂川以南で岸から 0.5~1 マイル以内において、11 月から翌年 6 月までの 8 ヶ月間操業禁止(平成 8 年 2 月から自粛)

2. 鹿島灘はまぐりの資源管理

鹿島灘(大洗町~神栖市)に面する 3 つの漁業協同組合で構成する鹿島灘漁業権共有組合連合会では、資源保護と魚価安定のため、漁獲努力量の削減、水揚げのプール制、漁具の改良などの資源管理を行っている。また、潮干狩りのルールを変更し、稚貝を保護するとともに、稚貝の密漁防止に努め、資源管理を進めている。今後、小型貝の水揚げ量制限を実施していく。

3. 鹿島灘の固定式刺網(建網)の資源管理

鹿島灘漁業権共有組合連合会では、漁業者同士の協議により、漁期を通じての漁獲量の平準化、魚価安定のため、操業開始時期を年々遅らせるとともに、操業開始当初の漁具の長さを削減している。

4. イシガレイの資源管理

小型魚保護のため、小型機船底びき網漁業の操業区域のうち、岸から 1 マイル以内を漁獲禁止区域としている。

5. シライトマキバイの資源管理

資源保護のため、1 回の水揚げ量を 60 カゴ以内に制限している。また、小型貝保護のため、関係する全漁業種類で殻長 7 cm 未満の再放流を実施している。(平成 19 年 4 月から自粛)

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（令和元年度） 所得9.1%向上

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により基準年度の収入0.2%増を目標とする。</p> <p>①魚価向上への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラス船びき網漁業者72名は、シラス鮮度管理学習会を開催し、鮮度管理技術の底上げを図る。 ・漁協は、観光協会や商工会等と提携して、鹿島港に水揚げされるシラスやヒラメ等の水産物について、すでに取引のある地元飲食店への出荷を継続・拡大するとともに、旅館等での流通にあたっての調整を行う。 <p>②地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体72名及び漁協は、「鹿嶋まつり（産業祭）」や「鹿島灘はまぐり祭り」等でのPR活動を通して、良質な鹿島灘産水産物の認知度向上および地産地消を促進し、魚価の向上を図る。 ・漁協及び市は、鹿嶋市内の幼稚園及び小中学校の給食へのシラス加工品の提供を継続するとともに、保育園等提供先の拡大を検討する。 ・漁協及び市は、ホッキガイの消費拡大を図るため、地元寿司店、日本料理店への安定供給のほか、「鹿嶋まつり」や「鹿島灘はまぐり祭り」等でのPR活動を行う。 ・漁協は、「いばらきの地魚取扱店」に対してヒラメ、ホッキガイ等の提供を継続し、地元水産物の知名度向上と地産地消を促進する。 <p>③水産資源の維持・増大と漁場環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体72名及び漁協は、隣接する茨城県栽培漁業センターが生産したヒラメ種苗の放流や、ハマグリ稚貝の放流を行うとともに、適正な漁獲管理を行うことで、水産資源の増大を図る。特に、ハマグリについては、小サイズ（殻径6～7cm）以下の個体の再放流に努めることで、単価向上及び資源の有効活用を図る。さらに、潮干狩りの新たなルールの周知に努めることで稚貝の保護を図る。 ・漁協及び市は、海岸を守る会、環境サポーターと連携し海浜漁場環境の保全活動を推進する。 ・鹿島灘多面的機能活動組織は、年1回、海難救助訓練を実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>④省燃油活動による燃油費の削減</p> <p>以下の取組により基準年度の経費から0.47%（燃油費に対し2%）の削減を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体72名は、減速航行の徹底、係留中の機関の停止、定期的な船底清掃による航行時の抵抗削減など、省燃油活動を実施し、燃油消費量を削減する。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>水産多面的機能発揮対策事業（国）…③、水産業強化支援事業（国）…③</p>

2年目（令和2年度） 所得 10.2%向上

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により基準年度の収入 0.2%増を目標とする。</p> <p>①魚価向上への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラス船びき網漁業者 72 名は、シラス鮮度管理学習会を開催し、鮮度管理技術の底上げを図る。 ・漁協は、観光協会や商工会等と提携して、鹿島港に水揚げされるシラスやヒラメ等の水産物について、すで取引のある地元飲食店への出荷を継続・拡大するとともに、旅館等への出荷を開始する。 <p>②地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体 72 名及び漁協は、「鹿嶋まつり（産業祭）」や「鹿島灘はまぐり祭り」等での PR 活動を通して、良質な鹿島灘産水産物の認知度向上および地産地消を促進し、魚価の向上を図る。 ・漁協及び市は、鹿嶋市内の幼稚園及び小中学校の給食へのシラス加工品の提供を継続するとともに、保育園等への提供を開始する。 ・漁協及び市は、ホッキガイの消費拡大を図るため、地元寿司店、日本料理店への安定供給のほか、「鹿嶋まつり」や「鹿島灘はまぐり祭り」等での PR 活動を行う。 ・漁協は、「いばらきの地魚取扱店」に対してヒラメ、ホッキガイ等の提供を継続し、地元水産物の知名度向上と地産地消を促進する。 <p>③水産資源の維持・増大と漁場環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体 72 名及び漁協は、隣接する茨城県栽培漁業センターが生産したヒラメ種苗の放流や、ハマグリ稚貝の放流を行うとともに、適正な漁獲管理を行うことで、水産資源の増大を図る。特に、ハマグリについては、小サイズ（殻径 6～7 cm）以下の個体の再放流に努めることで、単価向上及び資源の有効活用を図る。さらに、潮干狩りの新たなルールの周知に努めることで稚貝の保護を図る。 ・漁協及び市は、海岸を守る会、環境サポーターと連携し海浜漁場環境の保全活動を推進する。 ・鹿島灘多面的機能活動組織は、年 1 回、海難救助訓練を実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>④省燃油活動による燃油費の削減</p> <p>以下の取組により基準年度の経費から 0.47%（燃油費に対し 2%）の削減を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体 72 名は、減速航行の徹底、係留中の機関の停止、定期的な船底清掃による航行時の抵抗削減など、省燃油活動を実施し、燃油消費量を削減する。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>水産多面的機能発揮対策事業（国）…③、水産業強化支援事業（国）…③</p>

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により基準年度の収入 0.2%増を目標とする。</p> <p>①魚価向上への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラス船びき網漁業者 72 名は、シラス鮮度管理学習会を開催し、鮮度管理技術の底上げを図る。 ・漁協は、観光協会や商工会等と提携して、鹿島港に水揚げされるシラスやヒラメ等の水産物について、地元飲食店等への出荷の継続・拡大を図る。 <p>②地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体 72 名及び漁協は、「鹿嶋まつり（産業祭）」や「鹿島灘はまぐり祭り」等での PR 活動を通して、良質な鹿島灘産水産物の認知度向上および地産地消を促進し、魚価の向上を図る。 ・漁協及び市は、鹿嶋市内の保育園、幼稚園及び小中学校の給食へのシラス加工品の提供を継続する。 ・漁協及び市は、ホッキガイの消費拡大を図るため、地元寿司店、日本料理店への安定供給のほか、「鹿嶋まつり」や「鹿島灘はまぐり祭り」等での PR 活動を行う。 ・漁協は、「いばらきの地魚取扱店」に対してヒラメ、ホッキガイ等の提供を継続し、地元水産物の知名度向上と地産地消を促進する。 <p>③水産資源の維持・増大と漁場環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体 72 名及び漁協は、隣接する茨城県栽培漁業センターが生産したヒラメ種苗の放流や、ハマグリ稚貝の放流を行うとともに、適正な漁獲管理を行うことで、水産資源の増大を図る。特に、ハマグリについては、小サイズ（殻径 6～7 cm）以下の個体の再放流に努めることで、単価向上及び資源の有効活用を図る。さらに、潮干狩りの新たなルールの周知に努めることで稚貝の保護を図る。 ・漁協及び市は、海岸を守る会、環境サポーターと連携し海浜漁場環境の保全活動を推進する。 ・鹿島灘多面的機能活動組織は、年 1 回、海難救助訓練を実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>④省燃油活動による燃油費の削減</p> <p>以下の取組により基準年度の経費から 0.47%（燃油費に対し 2%）の削減を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体 72 名は、減速航行の徹底、係留中の機関の停止、定期的な船底清掃による航行時の抵抗削減など、省燃油活動を実施し、燃油消費量を削減する。 <p>⑤漁業用水の安定的な調達</p> <p><u>・漁協は、製氷施設を整備するために、施設の具体的仕様、コスト等について検討する。</u></p>

活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業（国）・・・③，水産業強化支援事業（国）・・・③
-----------	---------------------------------------

4年目（令和4年度） 所得 12.2%向上

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取組により基準年度の収入 0.2%増を目標とする。</p> <p>①魚価向上への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラス船びき網漁業者 72 名は，シラス鮮度管理学習会を開催し，鮮度管理技術の底上げを図る。 ・漁協は，観光協会や商工会等と提携して，鹿島港に水揚げされるシラスやヒラメ等の水産物について，地元飲食店等への出荷を継続・拡大するとともに，ホームページ等による PR 活動を行う。 <p>②地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体 72 名及び漁協は，「鹿嶋まつり（産業祭）」や「鹿島灘はまぐり祭り」等での PR 活動を通して，良質な鹿島灘産水産物の認知度向上および地産地消を促進し，魚価の向上を図る。 ・漁協及び市は，鹿嶋市内の保育園，幼稚園及び小中学校の給食へのシラス加工品の提供を継続する。 ・漁協及び市は，ホッキガイの消費拡大を図るため，地元寿司店，日本料理店への安定供給のほか，「鹿嶋まつり」や「鹿島灘はまぐり祭り」等での PR 活動を行う。 ・漁協は，「いばらきの地魚取扱店」に対してヒラメ，ホッキガイ等の提供を継続し，地元水産物の知名度向上と地産地消を促進する。 <p>③水産資源の維持・増大と漁場環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体 72 名及び漁協は，隣接する茨城県栽培漁業センターが生産したヒラメ種苗の放流や，ハマグリ稚貝の放流を行うとともに，適正な漁獲管理を行うことで，水産資源の増大を図る。特に，ハマグリについては，小サイズ（殻径 6～7 cm）以下の個体の再放流に努めることで，単価向上及び資源の有効活用を図る。さらに，潮干狩りの新たなルールの周知に努めることで稚貝の保護を図る。 ・漁協及び市は，海岸を守る会，環境サポーターと連携し海浜漁場環境の保全活動を推進する。 ・鹿島灘多面的機能活動組織は，年 1 回，海難救助訓練を実施する。
漁業コスト削減のための取組	<p>④省燃油活動による燃油費の削減</p> <p>以下の取組により基準年度の経費から 0.47%（燃油費に対し 2%）の削減を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業経営体 72 名は，減速航行の徹底，係留中の機関の停止，定期的な船底清掃による航行時の抵抗削減など，省燃油活動を実施し，燃油消費

	<p>量を削減する。</p> <p>⑤<u>漁業用氷の安定的な調達</u></p> <p>・<u>漁協は、製氷施設を整備す</u></p>
活用する支援措置等	<p>水産多面的機能発揮対策事業（国）・・・③，水産業強化支援事業（国）・・・③，浜の活力再生・成長促進交付金・・・⑤</p>

5年目（令和5年度） 所得 13.2%向上

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により基準年度の収入 0.2%増を目標とする。</p> <p>①魚価向上への取り組み</p> <p>・シラス船びき網漁業者 72 名は、シラス鮮度管理学習会を開催し、鮮度管理技術の底上げを図る。</p> <p>・漁協は、観光協会や商工会等と提携して、鹿島港に水揚げされるシラスやヒラメ等の水産物について、地元飲食店等への出荷を継続・拡大するとともに、ホームページ等による PR 活動を行う。</p> <p>②地産地消の推進</p> <p>・全漁業経営体 72 名及び漁協は、「鹿嶋まつり（産業祭）」や「鹿島灘はまぐり祭り」等での PR 活動を通して、良質な鹿島灘産水産物の認知度向上および地産地消を促進し、魚価の向上を図る。</p> <p>・漁協及び市は、鹿嶋市内の保育園、幼稚園及び小中学校の給食へのシラス加工品の提供を継続する。</p> <p>・漁協及び市は、ホッキガイの消費拡大を図るため、地元寿司店、日本料理店への安定供給のほか、「鹿嶋まつり」や「鹿島灘はまぐり祭り」等での PR 活動を行う。</p> <p>・漁協は、「いばらきの地魚取扱店」に対してヒラメ、ホッキガイ等の提供を継続し、地元水産物の知名度向上と地産地消を促進する。</p> <p>③水産資源の維持・増大と漁場環境保全</p> <p>・全漁業経営体 72 名及び漁協は、隣接する茨城県栽培漁業センターが生産したヒラメ種苗の放流や、ハマグリ稚貝の放流を行うとともに、適正な漁獲管理を行うことで、水産資源の増大を図る。特に、ハマグリについては、小サイズ（殻径 6～7 cm）以下の個体の再放流に努めることで、単価向上及び資源の有効活用を図る。さらに、潮干狩りの新たなルールの周知に努めることで稚貝の保護を図る。</p> <p>・漁協及び市は、海岸を守る会、環境サポーターと連携し海浜漁場環境の保全活動を推進する。</p> <p>・鹿島灘多面的機能活動組織は、年 1 回、海難救助訓練を実施する。</p>
---------------------	--

漁業コスト削減 のための取組	④省燃油活動による燃油費の削減 以下の取組により基準年度の経費から 0.47%（燃油費に対し2%）の削減を目標とする。 ・全漁業経営体 72 名は、減速航行の徹底、係留中の機関の停止、定期的な船底清掃による航行時の抵抗削減など、省燃油活動を実施し、燃油消費量を削減する。 ⑤漁業用氷の安定的な調達 <u>・漁協は、新たな製氷施設により、漁業者への安定した製氷供給に努める。漁業者は整備した製氷施設を活用し、鮮度向上と氷コストの削減を図る。</u>
活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業（国）・・・③，水産業強化支援事業（国）・・・③

(5) 関係機関との連携

<p>取組の効果が十分に発現されるよう、行政機関（茨城県、茨城県栽培漁業協会），系統団体（茨城沿海地区漁業協同組合連合会等），地域団体（鹿嶋市商工会，鹿嶋市観光協会，）との連携を密にするとともに，県内外の流通・販売業者，飲食店等についても新たな連携を図る。</p> <p>また，漁場環境保全については，地元の環境保全団体（海岸を守る会等）と連携し，活動する。</p>

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年 目標年	平成 25～29 年度平均： 漁業所得 円 令和 5 年度： 漁業所得 円
---------------	------------	--

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

別紙 1 のとおり

(3) 所得目標以外の成果目標

鹿嶋港に水揚げされるシラス・ホッキガイ等水産物の地元飲食店等への出荷量	基準年 目標年	平成 25～29 年度平均： 380kg 令和 5 年度： 418kg
ハマグリ小型貝（小・小小サイズ）の水揚げ割合	基準年 目標年	平成 25～29 年度平均： 13.7% 令和 5 年度： 6.8%

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

別紙2のとおり

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産多面的機能発揮 対策事業	・海難救助訓練を実施し事故防止の意識向上を図る。
浜の活力再生・成長 促進交付金（水産業 強化支援事業）	・鹿島灘はまぐり資源を持続的に利用していくために、稚貝の密漁防 止に努め、資源管理を進めていく。 ・ <u>製氷施設の整備により、漁業用氷の安定的調達を図り、漁業操業 の安定化を推進する。</u>